

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	重文指定記念・大鹿歌舞伎体感伝承活用事業
事業主体 (連絡先)	大鹿歌舞伎保存会 大鹿村教育委員会事務局 0265-39-2100
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,114,864 円

事業内容

1 用具の新調として、歌舞伎衣装・歌舞伎鬘・義太夫三味線を購入した。
 2 活用事業として、平成29年5月3日、7月8日、10月15日に重文指定記念の歌舞伎公演を行った。7月8日には記念講演会を行った。6月24日には歌舞伎ワークショップを行った。重文指定のPRとして記念公演にのぼり、桃太郎旗を掲示、記念式典には記念品としてパンフレット、染



【大鹿小学生の白浪五人男】

【目標・ねらい】

事業効果

- ① 記念公演 2 回の観客数2,000人、記念式典の参加者78人。各公演の大鹿歌舞伎上演の実施、のぼり、桃太郎旗、クリヤファイル、高速バスラッピングの実施を通して重要無形民俗文化財指定のPRができた。
- ② 歌舞伎衣装・鬘の新調ができ、義太夫三味線の購入により三味線弾き語り太夫のさらなる伝承活動を実施することができた。

- ① 大鹿歌舞伎の重要無形民俗文化財指定のPR
- ② 大鹿歌舞伎のさらなる伝承活動
- ③ 大鹿歌舞伎の魅力発信
- ④ 大鹿歌舞伎の地域振興への活用

※自己評価【 A 】

【理由】

今回特に重文指定公演として大鹿小
 ・中学校の児童生徒による歌舞伎上演は大変な反響があり、子供たちにとってもこうした舞台に立て

今後の取り組み

地芝居大鹿歌舞伎の重要無形民俗文化財指定は、地芝居の分野では全国区初の指定であり、その意義は非常に重く深い。歌舞伎自体、日本を代表する芸能であるにもかかわらず、日本全体を俯瞰してみると、歌舞伎のなじみのない方がまだまだ多いのが現状である。ましてや、地芝居という地方で細々と継承されている歌舞伎はほとんど認知されていないという、寂しい現実がある。その意味からも大鹿歌舞伎の存在そのものを広く情報発信する意義はあまりにも大きい。今後もさらなる情報発信の努力が必要不可欠である。

その情報発信の一つにもなる大鹿歌舞伎の活用として、体験型ワークショップの取り組みが今後期待できる。この活用により地域振興への発展の可能性も込められている。内容をさらに探求し、大鹿歌舞伎の伝承にも継承される工夫をしまいたい。また、小中学生への伝承活動もさらに